

# 大島分場トピック

No. 300

(旧大島分場だより)

東京都水産試験場 大島分場発行  
〒100-0212 東京都大島町波浮港 18

Tel 04992 (4) 0381 Fax 04992 (4) 0383

ホームページ <http://www.fish.metro.tokyo.jp>

平成 16 年 10 月 15 日

## 通巻 300 号発行を記念して

「大島分場だより」は、昭和 43 年 1 月に産声をあげて以来 37 年、通巻 300 号を迎えることができました。より身近な話題をわかりやすく、タイムリーにお届けすることを職員一同心掛けて参りました。今後ともご愛読を賜りますようお願い申し上げます。

本誌では、三宅島の海の最新情報を取りまとめました。島民の皆様の一日も早い帰島と生活の再建を心よりお祈り申し上げます。

平成 16 年 10 月 分場長 青木雄二

## 噴火後 4 年経過した今、テングサに回復の兆しが！

平成 12 年 6 月の三宅島雄山の大噴火から 4 年経過した今年の 5 月と 9 月に島周りの 26 ヶ所でテングサの生育状況を調査しました。噴火による降灰、泥流、土砂の崩落等で影響を受けたテングサ漁場は、一部の漁場を除き回復傾向にあることが確認されました。

### ・依然続く泥流の影響

島の西側や東側の一部の漁場では、陸上から流れ出たと思われる泥の堆積や濁りが確認されました。台風等の大雨により陸上に残っている火山噴出物が流れ出したものです。光の必要な海藻への影響が危惧され、ダム等の整備による早急な対策が望まれます。



写真 1 泥流により泥の堆積した漁場

### ・回復の早いオオブサ

島の北～北東側に多く分布するオオブサは、草質も良好で着生量も多く、順調に回復してきています。波打ち際の岩の側面に多く着生し、波浪の影響を受けやすく、流入した泥や濁りの影響が少ないためと考えられます。一方、マクサとオバクサは、着生量は少しずつ回復してきているものの、草丈は短く、付着物も多く草質はあまり良くありませんでした。

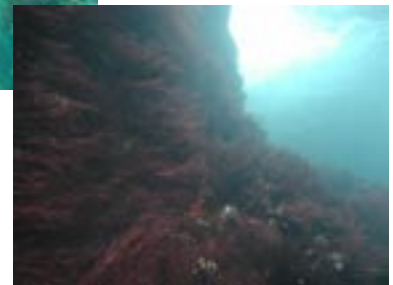


写真 2 回復傾向のオオブサ群落

### ・テングサ漁業への期待

三宅島は「テングサの島」と言われ、これまで島の漁業を支えてきました。島では来年 2 月の帰島が計画されています。4 月から始まるテングサ漁に島の復興の第 1 歩を期待します。



- オオブサが回復した漁場 (着生量 500g/m<sup>2</sup> 以上)
- マクサ・オバクサが回復した漁場 (〃)
- 回復が遅れている漁場

図 1 三宅島のテングサ回復状況